

Beyond KUSS , 2019 !!

定期考査と大学入試

来週(来月)、6月4日(月)～8日(金)は春学期中間考査です。6年生は秋学期期末考査を実施しませんので、定期考査は3回です。3回の定期考査が6年生各科目の評価の重要な資料になります。体育等は、日頃の授業での取組により評価が決まります。

定期考査と大学入試はどのような関係があるのでしょうか。「定期考査と大学入試は関係ない」という人たちもいますが、本当にそうでしょうか。定期考査は日頃の授業を通じた学習の定着度を測定するもので、選抜のために実施するものではありません。大学入試は入学者を選抜するために実施するものですから、その性格は異なります。大学入試で測定される力は、定期考査で測定する力と共通する部分は多いです。

「定期考査は出題範囲が限定されており、大学入試は全範囲である」という人たちもいます。確かに定期考査は出題範囲が限定されます。しかし、6年生の定期考査の出題範囲は、1年生の頃と異なり、ずいぶん広い範囲から出題する科目が増えていませんか。

中間考査に向けての取組や結果の分析を通じ、夏季休業中に克服すべき課題を見つけましょう。授業や定期考査など、学校の活動を自分の学習に位置づけることが大切です。自分の学習スタイルを確立した人(学習できる身体をもつ人)は強いです。

第1回進路希望調査

先日24日(木)、第1回進路希望調査を行いました。集計結果を裏面に掲載しています。国公立大学志望者は126名(73%)。男女による差は5%、文理による差は23%です。志望者の多い大学は、神戸大学、大阪大学、関西学院大学の3校です。この3校で約半数を占めます。これに続くのが、京都大学、大阪市立大学です。近畿圏の大学が多いです。神戸大学では国際人間科学部志望者が突出して多いです。

みなさんの第1志望校、「学びたい」大学としてふさわしい大学でしょうか。先生方と十分に対話を行い、第1志望の設定を行ってください。第1志望の設定をうまく行うことが、受験を豊かなものにする秘訣です。

本校は、みなさんが、第1志望に出願し、進学することを支援します。

総合学力マーク模試(進研マーク模試：ベネッセ)

先日25日(金)放課後及び26日(土)に進研マーク模試を実施しました。いくつかのトラブルが発生しています。科目のマーク、組・番号のマークなどでマーク漏れがありました。手続上のミスは致命傷になることがあります。十分に注意しましょう。

自己採点も行いましたが、ここでもトラブルが発生しています。自己採点ができない状態の人、解答科目と異なる科目で報告している人など。自己採点は自分の位置を知るうえで重要なものです。自己理解が乏しい人は、前進時に苦勞することがあります。次回8月のマーク模試では正確に解答し、自己採点できるようになりましょう。

今回は平均点50%突破が目標です。自己採点で50%突破できていない科目は、数ⅡB、世界史B、日本史B、地理B、化学基礎、生物基礎、地学基礎でした。

〈保護者の方々にも読んでいただきましょう〉

『Beyond KUSS , 2019 !!』など進路課が発信する情報の一部をHPに掲載しています。

NO_9
2018年5月31日(木)



第1回進路希望調査計結果(省略)